

## No.2355

### つつじ満開？の高原 三 窪 高 原

実施日 2008年6月7日(土)

天 候 晴れ

リーダー 横山 玲子

参加者 上野キヨ、 岩井康子、横山義彦、伊東勝昭、 計5名

費 用 剌テ-パス(2,300円)、大月⇄塩山(960円)、タクシー(1,890円)、バス(100円)、入浴代(600円)、計5,850円

タイム 塩山駅(8時47分~8時55分タクシー)柳沢峠(9時25分~9時40分)柳沢の頭(10時15分~10時20分)電波塔(11時15分)ハンゼの頭(11時35分~12時30分昼食)柳沢峠(13時17分~13時30分タクシー)大菩薩の湯(13時50分~15時バス)塩山駅(15時25分~15時33分)

塩山駅からタクシーで大菩薩ラインをぐんぐん走り高度を上げたどり着いた柳沢峠はれんげつつじが五分咲きでした。駐車場には観光バスも1台、その乗客らしい団体30人位の人達は一足先にスタート。



柳沢の頭までは新緑の唐松林の中ゆるやかな登り、爽やかな空気を呼吸する程に身体の中が清められるみたいです。柳沢の頭のつつじはつぼみでした。その代わりズミの花が満開。残念なことにハンゼノ頭のレンゲつつじは期待はずれでした。群生しているつつじの木があぶない状態でした。小さい木は枯れてしまい、大き

い木も枯れ枝が多くあり、つぼみはほんのわずかといった有様。

あと一週間~ 10日後満開としても

花が少なく淋しいでしょう。これは病気や害虫のためでしょうか。気候の性でしょうか。鹿等動物に荒らされたか、それとも人間が多く踏みつけたからでしょうか。



色の細い殻から稲の花のようにめしべ、おしべが出ています。地味な小さな花なので教えてもらわないとわかりませんでした。笹は花が咲くと枯れると聞いています。

三窪高原はこの後どうなるのでしょうか。

でも山のふところは大きい、山はつつじ、笹だけではありません。今回の山行ではズミの花をたっぷり楽しみました、つぼみは濃い紅色の玉で開くと真っ白になります。山にはこんなにたくさんズミの木があったのかと嬉しい発見でした。下山後、途中下車大菩薩の湯で汗を流しさっぱり。



今回私は初めて笹の花を見ました。紫



どなたかが「今日の山行は大人の山行だったね~」と、とても意味深い感想をおっしゃいました  
(記・横山 玲子)